

『にほんごをまなぼう』15課 指導案(例)「掃除」

学齢	小1～中3	テキスト	『にほんごをまなぼう』(ぎょうせい)
学習者	毎日日本語の教室を掃除してから帰らせているので「掃除」「掃除用具」については触れている。「V(動詞)+よう」の言い方を練習する		
備考	2～3名 漢字圏・非漢字圏		

学習目標
1) 日本の学校の掃除当番について(ビデオ、紙芝居などを見る) 2) 掃除当番があり、生徒自身が掃除することが習慣だということを理解してもらう 3) 役割があることなどを理解してもらう 4) 掃除に使うものの名前 5) Vよう(友達同士)
できれば通級する学校の掃除の時間や流れを確認

内容	目的
導入	
T 掃除のビデオ、紙芝居を見せる その後、掃除用具や教室用具の呼称を練習する 「机、いす、ほうき...」	
展開	
紙人形、紙芝居、人形などを使って「V(動詞)+よう」が友達同士のことばだと理解してもらう。 (ミッキーミニーのマスコット人形を利用) T「ミニー、チョコレートを食べよう」 T「うん、食べよう」 (生徒の理解しているV、語彙を使ってスキットをいくつか) ミッキーをSにもたせて、T:Sでロールプレイ。ミニーをSにもたせ、S:Sでロールプレイ T:そうじをしよう P48-49を開き、用具を確認。 実際に身体を動かしながら、いくつかの動作をする。	Vを「V(動詞)+よう」の形にできる 友達を誘うときに使うということがわかる。 用具を確認したり、実際に体を動かすことで掃除に関わる語彙がわかり始める
休憩	
2時間目:文字	
文字	
P48-49を輪読する 最初は状況がわかる程度、その後、特殊音にも注意しながら 掃除用語(名詞、動詞)ディクテーション 絵カードマッチング(P48-49をカードにし、何をしているのか読み上げて、カードをとる) たて書きの文を読む練習(ワークシート) カタカナ練習帳(宿題チェック)	
まとめ プリントを配る。(宿題)	